

でたらめ「都」構想絶対反対

自民党参院議員 柳本 卓治さん



かつて大阪府議会議員を務めさせていただきました柳本卓治でございます。共産党の先生方が人間愛の上に立って政治をし、家庭の幸せを照準に日常活動を続けておられることに敬意を表しています。

大阪府政の改革や財政再建もろくにできないで、府庁舎の移転問題で「都」構想なるものが出てきたわけです。大阪府の大阪府に対するM&A(合併・買収)を彼は考えた。まことにひきょうなやり方です。「そのとおり」の声と拍手)

同時に、仮に大阪府が廃止されたら、「大阪都」にしようと思ったら国会の議決が必要なんです。国会で「大阪都」になる法律なんて、できるはずがない。断固反対いたします(拍手)。こういう見せかけの「だたらめな」都構想に対して、みなさん、オール市民で5月17日までいっしょに頑張りましょう。よろしくお願いたします。「いいぞ」のかけ声、大きな拍手)

特別区になったら用途地域の指定はできません。用途地域の指定の権限は大阪府にある。そうしたら自分たちのまちづくりはできない。財源はしっかり確保しながら市民の福祉やまちづくり、教育に使っていくという分権改革と真逆のことをやろうとしているんです。

維新の会は、お金と人をどっさり持っています。堺では全国から動員してました。それをね返さんといかん。それをね返すのは、広範な政党や団体、市民の団結力やというのがわかりました。今回もそれが絶対条件です。(拍手)

私は橋下徹大阪市長の部下でした。彼は言葉の魔術師で、壮大なイリュージョン(幻想)をかけます。しかし、すべて種がある。市民のみならず、分割やと言われるのはホンマにおかしい話なんです。(拍手)

大阪府にはいろいろな課題があったと思います。それは大阪府をつぶして解決できるものではなく、反対に大阪府の生活に大きな不利益をもたらすものです。今大事なのは、文化や都市の魅力で世界都市大阪府をつくっていく。そして人と人の結びつき、地域と地域の結びつきをより強固にしていこう。そういう地域を支え合い、連帯が求められています。一度つぶしてしまったら取り返しがつかない。大阪の子どもは「大阪っ子」と言いますが、五つに分割されてしまったら「湾岸っ子」というのができるんです。愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。いっちょ浪速のご根性見せましょう。頑張りましょう。(拍手)

市民の誇り、ぐ破算できない

堺市長 竹山 修身さん



ました。そして、「自由自治都市」として諸外国と交易してきました。そうした堺の歴史や文化、芸術というものに堺市民はプライドを持っています。

今、大阪市民のみなさんには、大阪市の歴史や文化をどうするかが問われています。堺は45年かけて政令指定都市になりました。そういう市民、市議会議員、市の職員

の中心は暮らしと自治の破壊できない。これは住民自治の破壊です。橋下氏は「住民サービスはよくなる」「私を信じて」と言っています。しかし、「大阪府民はぜいたくしている」と医療や福祉を次々切り捨て、若者も高齢者も泣かせてきたのが橋下・維新市政の3年半です。「言っていること」ではなく「やってきたこと」に真実があるのではないのでしょうか。

私は橋下徹大阪市長の部下でした。彼は言葉の魔術師で、壮大なイリュージョン(幻想)をかけます。しかし、すべて種がある。市民のみならず、分割やと言われるのはホンマにおかしい話なんです。(拍手)

維新とたたかう中で、新しい大阪をつくる「オール大阪」・庶民の力も見えてきました。ここには「一人の指揮官」による強権政治ではなく、立場を超えて話し合い、一致点で共同する本場の自治の姿があります。そのことに確信を持って、5月17日の住民投票に共同の力で勝利しましょう。みんなの力であらう大阪をつくらうではありませんか。(大きな拍手)

3期6年間務めて最高顧問として現在おりますが、8年前に橋下(徹)君を知事に推薦したのが大きな私の失敗だったと思っています。(笑いと拍手)

堺は歴史と文化のまちです。1600年前から仁徳天皇陵をはじめ、百舌鳥(もず)古墳群をつくるためにたくさんの方が集まり、ものづくりにして文化をつくってき

大阪で育てていただき、選んでいただいた政治家の一人

「大阪都」構想の正体は「大阪府廃止・解体」構想です。その

「大阪都」構想の正体は「大阪府廃止・解体」構想です。その

自分たちの税金をどう使うか、自分たちで決めること

自分たちの税金をどう使うか、自分たちで決めること